

I 主の十字架の恵み

1. 「自分から（ゲッセマネの祈りの格闘の勝利）十字架の上で、

私たちの罪（不品行、汚れ、好色、偶像礼拝、魔術、憎しみ、恨み、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ、醜悪、悪い遊び、うそ、悪口、陰口、他）をその身に負われました。

それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです（罪の赦し、神との関係の回復、自己受容の恵み、人間関係の変化）」Iペテロ2：24。

2. 「キリストも一度（私達の）罪のために死なれました。

正しい方（キリスト）が悪い人々（すべての人々、私たちも）の身代わりとなったのです」3：1

3. 「私たちは、イエスの血によって、大胆にまことの聖所（神の臨在に近づける最高の聖なる場所）に

はいることができるのです。イエスはご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのためにこの新しい生ける道を設けてくださったのです」ヘブル10：19-20。

4. 神の先行する恵みで救われていなかったら、私達は、死んで終わりではなく、永遠の苦しみという自分の罪へのさばきを受けなければならなかった。

「彼らを惑わした悪魔は火と硫黄との池に投げ込まれた。そこには獣も、にせ預言者もいる所で、彼らは永遠に昼も夜も苦しみを受ける」黙示録20：10。

主の十字架の恵みの救いがなければ、私たちも、死んだ後、火と硫黄の池で永遠に昼も夜も苦しまなければならなかった。

私達は、主の十字架と主を信じる信仰を通して、この恐ろしいさばき、滅びから救われたのである！心から感謝したい！

II 主の復活の恵み、深い意味、強い励まし

1. 「御子は…死者の中からの復活により、大能によって公に神の御子と示された方」ローマ1：4。

主の復活こそ、イエスが神であり、神の御子であり、神の永遠の御子である事実を最終的に立証している。

2. 「主イエスは、私たちの罪のために死に渡され、私たちが義（罪が赦され、神の前に正しいとされ、神との正しい関係が与えられる）と認められるために、よみがえられたのです」ローマ8：25。

主の復活は、非常に大切な事実を宣告している。神は、ご自分の御子が十字架の上でない遂げられた贖いの御業に十分、また完全に満足しておられるという事、私たちの罪の為の主の十字架の供え物に神は十分満足され、完全に私達の罪の償いは完了した！

3. 誰も打ち勝つことが出来なかった恐ろしい死（肉体の死と永遠の滅びという死）に勝利し、主は復活された。

死への勝利者は主のみ！「死よ。おまえの勝利はどこにあるのか。死よ。おまえのとげはどこにあるのか。」

死のとげは罪であり、罪の力は律法（主は、33年間の歩みと十字架で律法を完全に守り、全うされた）です。

しかし、神に感謝すべきです。神は、私たちの主イエス・キリストによって、私たちに勝利を与えてくださいました。ですから、私の愛する兄弟たちよ。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。

あなたがたは自分たちの労苦が、主にあってむだではないことを知っているのですから。」

Iコリント15：55-58。

イエスは言われた。

「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きる（よみがえる）のです」ヨハネ11：25。

#### 4. 主を信じると霊的に主に結ばれ、神に喜ばれる新しい歩み、新しい力が与えられる！

「キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、いのちにあって新しい歩みをするためです」ローマ6：4。

「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、すべてが新しくなりました」Ⅱコリント5：17

### Ⅲ 復活の主は、今、どこにおられ、何をしておられる。主は、全能の神で遍在のお方。

#### 1. 復活され、今も生きて働いておられる主は、この地上でいつも私たちと共におられ私達を支えて下さる。

「見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます」マタイ28：20。

私たちが、つらい時、いつも共にいて、支えて下さる。

「主イエスは、彼らにこう話されて後、天に上げられて神の右に着かれた。そこで、彼らは出て行って、至る所で福音を宣べ伝えた。主は彼らとともに働き、みことばに伴うしるしをもって、みことばを確かなものとされた」マルコ16：20。

#### 2. 私たちの心の中に住んでいて下さる。

「私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が、この世に生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです」ガラテヤ2：20

#### 3. 天におられ、父なる神の右の座に着き、私たちの為に執り成しをしておられる。

「罪に定めようとするのはだれですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、私たちのためにとりなして下さるのです」ローマ8：34  
「ご自分によって神に近づく人々を、完全に救うことができになります。キリストはいつも生きていて、彼らのために、とりなしをしておられるからです」ヘブル7：25

※私たちの罪の告白を父なる神に取り次いで下さる。御父が厳しく、御子が優しい神なのではなく、御父と御子は同じ愛と聖の御性質。御父は御子の十字架の完全な償いの恵みの故に、私たちの罪を赦し、きよめて下さる。私たちを愛して下さる。

### Ⅳ 先行する神の恵みへの感謝

主の十字架と復活の恵みを心から感謝します。

① 神を賛美し礼拝します。

② まだ、この素晴らしい救いを知らない人々に、主の救いを伝える者として下さい！